

# 令和3年度 社会医療法人財団大樹会総合病院回生病院 病院指標

[医療法における病院等の広告規制について（厚生労働省）](#)

- [1. 年齢階級別退院患者数](#)
- [2. 診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）](#)
- [3. 初発の5大癌のUICC病期分類並びに再発患者数](#)
- [4. 成人市中肺炎の重症度別患者数等](#)
- [5. 脳梗塞の患者数等](#)
- [6. 診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）](#)
- [7. その他（DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）](#)

## 年齢階級別退院患者数

[ファイルをダウンロード](#)

年齢区分	0～	10～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	90～
患者数	107	69	103	189	162	208	360	619	616	238

令和3年度の退院患者数（集計対象患者数）は2,671人であり、特に70歳以上の患者さんが多く全体の約55%となっています。年齢階級別の割合は前年度と比較するとほぼ同じですが、新生児入院が増加した結果、0歳児の入院が増加しています。当院の所在する中讃医療圏では回復期病床数や、地域包括ケア病棟が少ないこともあり、院内のみならず院外からも急性期治療後の場として地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟を利用いただき、多職種連携により在宅に復帰するための支援を行っています。

## 診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）

[ファイルをダウンロード](#)

### ■ 内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用パス
110310XX99XXXX	腎臓又は尿路の感染症 手術なし	-	28.63	13.14	12.50%	71.13	
161070XXXXX00X	薬物中毒（その他の中毒） 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	-	2.33	3.70	16.67%	51.83	<a href="#">パス</a>
010230XX99X00X	てんかん 手術なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	-	8.83	7.22	16.67%	63.17	
10007XXXXXX1XX	2型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。） 手術・処置等2 1あり	-	18.80	14.41	20.00%	62.00	<a href="#">パス</a>
180010X0XX00XX	敗血症（1歳以上） 手術・処置等2 なし	-	25.75	19.22	25.00%	81.50	

当科は総合内科、血液内科、糖尿病センター、神経内科の4科から構成しています。当科では尿路感染症や急性薬物中毒、てんかん等、救急外来を受診し入院される件数が上位を占めています。また、糖尿病治療においては日本糖尿病学会指導医が在籍し、一般病棟だけでなく地域包括ケア病棟も利用し入院治療を行っています。なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

### ■ 消化器科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用パス
040081XX99X0XX	誤嚥性肺炎 手術なし 手術・処置等2 なし	63	42.37	20.57	20.63%	83.13	<a href="#">パス</a>
060340XX03X00X	胆管（肝内外）結石、胆管炎 限局性腹腔膿瘍手術等 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	54	15.15	9.21	5.56%	79.56	
110310XX99XXXX	腎臓又は尿路の感染症 手術なし	45	29.64	13.14	11.11%	81.38	
100380XXXXXXXXXX	体液量減少症	19	20.82	10.66	0.00%	72.84	
180010X0XX00XX	敗血症（1歳以上） 手術・処置等2 なし	11	29.55	19.22	0.00%	81.55	

当科は誤嚥性肺炎の患者診察において、非常勤医である呼吸器内科医師と協力して診療を行っており患者数が多くなっています。総胆管結石、胆管炎、胆のう炎、尿路感染症、脱水症、敗血症の患者数も上位を占めています。また胆管結石、胆管炎等の治療は患者さんの負担が少ないよう内視鏡下で行っています。当院では急性期治療後地域包括ケア病棟を利用し自宅退院を目的としたポストアキュートの治療を行っているため、平均在院日数は全国平均に比べ長い傾向にあります。

#### ■ 循環器科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用パス
050130XX9900XX	心不全 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 なし	36	31.44	17.35	11.11%	82.53	<a href="#">パス</a>
050170XX03000X	閉塞性動脈疾患 動脈塞栓除去術 その他のもの(観血的なもの)等 手術・処置等 1 なし、1あり 手術・処置等 2 なし 定義副傷病なし	14	13.93	5.32	0.00%	72.64	<a href="#">パス</a>
050210XX97000X	徐脈性不整脈 手術あり 手術・処置等 1 なし、1,3あり 手術・処置等 2 なし 定義副傷病なし	10	11.50	10.24	0.00%	80.70	<a href="#">パス</a>
050130XX97000X	心不全 その他の手術あり 手術・処置等 1 なし、1あり 手術・処置等 2 なし 定義副傷病なし	10	43.20	22.07	0.00%	90.90	<a href="#">パス</a>
050050XX9910XX	狭心症、慢性虚血性心疾患 手術なし 手術・処置等 1 1あり 手術・処置等 2 なし	-	3.00	3.06	0.00%	71.89	<a href="#">パス</a>

当科では、心不全の急性期入院による入院が最も多い疾患となっています。生活習慣病から進展することの多い狭心症や動脈硬化症といった血管が収縮する疾患の予定入院も多くなっています。血管にステント留置を行う手術目的の他、血管にカテーテルを通して収縮度合いを検査するカテーテル検査を主に行っております。その他、心不全の急性期入院や徐脈性不整脈へのペースメーカー移植術を行いペースメーカー管理も行っています。平均在院日数が、全国平均と比較し長い傾向にあるのは、急性期での治療後、地域包括ケア病棟で在宅復帰に向けた治療を行っているためです。なお患者数10未満は「- (ハイフン)」を入力しています。

#### ■ 小児科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用パス
140010X199X0XX	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害(出生時体重2500g以上) 手術なし 手術・処置等 2 なし	21	6.24	6.13	9.52%	0.00	<a href="#">パス</a>
140010X299X0XX	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害(出生時体重1500g以上2500g未満) 手術なし 手術・処置等 2 なし	19	10.32	11.01	0.00%	0.00	<a href="#">パス</a>
080010XXXX0XXX	膿皮症 手術・処置等 1 なし	-	5.50	13.07	0.00%	1.50	
040090XXXXXX0X	急性気管支炎、急性細気管支炎、下気道感染症(その他) 定義副傷病なし	-	4.00	5.83	0.00%	0.00	
040070XXXXXX0XX	インフルエンザ、ウイルス性肺炎 手術・処置等 2 なし	-	6.00	5.95	0.00%	1.00	

当科は小児の感染症のほか、出生時に関連する障害である低出生体重児、早産児、新生児呼吸障害などが疾患の中心となっています。新生児については、産科と協力して診療しています。なお患者数10未満は「- (ハイフン)」を入力しています。

#### ■ 外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用パス
--------	-------	-----	--------------------	--------------------	-----	------	-----------

060330XX02XXXX	胆嚢疾患（胆嚢結石など） 腹腔鏡下胆嚢摘出術等	10	8.40	6.25	0.00%	60.80	<a href="#">パス</a>
060335XX02000X	胆嚢炎等 腹腔鏡下胆嚢摘出術等 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	10	10.40	7.11	0.00%	68.00	<a href="#">パス</a>
060150XX03XXXX	虫垂炎 虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴わないもの等	10	6.20	5.40	0.00	47.30	<a href="#">パス</a>
060035XX010X0X	結腸（虫垂を含む。）の悪性腫瘍 結腸切除術 全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術等 手術・処置等1 なし 定義副傷病 なし	10	45.60	15.76	10.00%	78.60	
100020XX010XXX	甲状腺の悪性腫瘍 甲状腺悪性腫瘍手術切除（頸部外側区域郭清を伴わないもの）等 手術・処置等1 なし	-	10.00	8.19	0.00%	68.00	

当科は、胆嚢疾患の患者数が多く、その他悪性新生物の手術目的入院や急性虫垂炎の入院が多くなっています。近年は患者さんに負担をかけないよう腹腔鏡下の手術にも力を入れ、消化器疾患（胃、大腸、胆のう等）や甲状腺疾患など、幅広い疾患に対応しています。なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

#### ■ 整形外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
160800XX01XXXX	股関節・大腿近位の骨折 人工骨頭挿入術 肩、股等	94	48.65	25.32	26.60%	83.72	<a href="#">パス</a>
070230XX01XXXX	膝関節症（変形性を含む。） 人工関節再置換術等	93	35.34	23.02	0.00%	77.00	
160620XX02XXXX	肘、膝の外傷（スポーツ障害等を含む。） 関節滑膜切除術等	56	7.89	6.94	0.00%	54.79	
160610XX01XXXX	四肢筋腱損傷 靱帯断裂形成手術等	51	31.90	16.66	0.00%	63.57	
070230XX97XXXX	膝関節症（変形性を含む。） その他の手術あり	40	11.68	7.39	0.00%	65.70	

当科は一般整形と関節外科（主に膝・股関節、肩関節）に分けて診療を行っています。大腿骨骨折や変形性膝関節症の平均年齢は75歳以上の患者さんが多いですが、膝の外傷の平均年齢は若くなっています。大腿骨骨折は地域の病院と連携して一貫した診療体制であるため転院割合が高い傾向となっています。また圧迫骨折、椎間板ヘルニア、肩関節疾患等整形疾患全般について幅広く治療を行っています。また、回復期リハビリテーション病棟を活用し、自院他院を問わず手術後のリハビリテーション目的の入院を積極的に受け入れています。急性期治療後回復期リハビリテーション病棟にて自宅退院を目的としたリハビリ入院を継続しているため、在院日数は全国平均よりも長い傾向にあります。

#### ■ 脳神経外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
010060X2990401	脳梗塞（脳卒中発症3日目以内、かつ、JCS10未満） 手術なし 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 4あり 定義副傷病 なし 発症前Rankin Scale 0、1又は2	46	43.63	15.63	2.17%	72.91	<a href="#">パス</a>
160100XX97X00X	頭蓋・頭蓋内損傷 その他の手術あり 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	25	31.24	9.78	8.00%	77.48	<a href="#">パス</a>
010040X099000X	非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜下血腫以外）（JCS10未満） 手術なし 手術・処置等1 なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	20	53.10	18.90	40.00%	71.15	<a href="#">パス</a>
160100XX99X00X	頭蓋・頭蓋内損傷 手術なし 手術・処置等2 なし 定義副傷病 なし	17	16.41	8.30	0.00%	57.00	<a href="#">パス</a>
010060X2990201	脳梗塞（脳卒中発症3日目以内、かつ、	12	25.33	15.57	0.00%	70.75	<a href="#">パス</a>

JCS10未満) 手術なし 手術・処置等 1 なし 手術・処置等 2 2あり 定義副傷病 なし 発症前Rankin Scale 0、1又は2										<a href="#">ス</a>
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-------------------

当科において最も多い疾患は、脳梗塞、続いて外傷性頭蓋内損傷、頭蓋内血種となっており緊急性の高い疾患が多くなっています。脳梗塞の治療では、超急性期脳卒中に対する血栓溶解療法（t-P A治療）の体制も整えています。入院後早期にリハビリ介入することで、日常生活自立を向上させ、入院前の状態に近づけることを目標にしています。脳梗塞、脳出血については地域の病院と連携した診療体制を構築しており転院される方も多くなっています。平均在院日数が長い理由は、急性期治療後、回復期リハビリテーション病棟において自宅退院に向けたリハビリ治療や、地域包括ケア病棟においてリハビリの継続を希望される方にも対応しているためです。また、急性期治療後回復期リハビリテーション病棟にて自宅退院を目的としたリハビリ入院を継続しているため、在院日数は全国平均よりも長い傾向にあります。

#### ■ 産婦人科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
120260XX01XXXX	分娩の異常 子宮破裂手術等	56	8.54	9.38	0.00%	31.96	<a href="#">パス</a>
140010X199X0XX	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害（出生時体重2500g以上）手術なし 手術・処置等 2 なし	47	3.13	6.13	0.00%	0.00	<a href="#">パス</a>
120170X199XXXX	早産、切迫早産（妊娠週数34週未満）手術なし	23	27.78	21.53	17.39%	30.65	<a href="#">パス</a>
120140XXXXXXXX	流産	18	1.22	2.44	0.00%	33.94	<a href="#">パス</a>
12002XXX02X0XX	子宮頸・体部の悪性腫瘍 子宮頸部（腔部）切除術等 手術・処置等 2 なし	14	3.86	3.05	0.00%	41.57	<a href="#">パス</a>

当科は分娩に関連する産科疾患が上位を占めています。集計対象外である自然分娩を含めた分娩件数は年間約350件となっており、市内はもとより近隣地域からも受診されています。総合病院であるため、他科との共同診療が可能であり、合併症のある方でも安心して分娩が出来体制が整っています。

#### ■ 眼科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
020110XX97XXX0	白内障、水晶体の疾患 手術あり 片眼	15	1.80	2.71	0.00%	74.73	<a href="#">パス</a>
020280XX99XXXX	角膜の障害 手術なし	-	31.00	16.29	0.00%	89.00	
160250XXXX0XXX	眼損傷 手術・処置等 1 なし	-	7.00	5.05	0.00%	79.50	
020280XX97XXXX	角膜の障害 手術あり	-	9.00	9.56	0.00%	70.50	
020220XX97XXX0	緑内障 その他の手術あり 片眼	-	2.00	5.41	0.00%	74.00	

当科は白内障患者数が最も多いです。入院以外でも外来での手術対応も行っており、年間の白内障手術件数は毎年500件前後となっています。また地域のクリニックに当院の手術室を利用いただき白内障手術をしています。さらに黄斑変性については多くを外来治療で行っています。なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

#### ■ 耳鼻咽喉科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
030400XX99XXXX	前庭機能障害 手術なし	11	3.45	4.92	0.00%	54.36	
030240XX99XXXX	扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽頭喉頭炎 手術なし	-	5.00	5.71	0.00%	34.75	
030240XX97XXXX	扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽頭喉	-	8.00	8.62	0.00%	4.00	

	頭炎 その他の手術あり						
030430XX97XXXX	滲出性中耳炎、耳管炎、耳管閉塞 手術あり	-	2.00	3.22	0.00%	3.50	
030230XXXXXXXX	扁桃、アデノイドの慢性疾患	-	6.00	7.84	0.00%	9.00	<a href="#">パス</a>

当科は、めまいに代表される前庭機能障害、、扁桃炎、中耳炎など疾患について診療を行っています。一般病棟だけでなく地域包括ケア病棟を利用した治療を行っています。  
なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

#### ■ 泌尿器科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用パス
11012XXX020X0X	上部尿路疾患 経尿道的尿路結石除去術 手術・処置等 1 なし 定義副傷病 なし	19	6.58	5.56	0.00%	57.16	<a href="#">パス</a>
110200XX02XXXX	前立腺肥大症等 経尿道的前立腺手術等	15	14.93	8.23	0.00%	73.73	<a href="#">パス</a>
110310XX99XXXX	腎臓又は尿路の感染症 手術なし	-	14.88	13.14	0.00%	74.00	
110070XX03X0XX	膀胱腫瘍 膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的 手術 手術・処置等 2 なし	-	9.83	7.02	0.00%	79.83	
110070XX03X20X	膀胱腫瘍 膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的 手術 手術・処置等 2 2あり 定義副傷病 なし	-	7.67	6.86	0.00%	72.83	

当科は尿管結石の患者数が最も多く一般病棟だけでなく地域包括ケア病棟においても治療を行っています。  
主な治療としては経尿道的尿路結石除去術を行っています。前立腺肥大症、腎不全、膀胱腫瘍等についても幅広く治療を行っています。  
また前立腺がんの生検検査も数多く行っています。慢性腎不全の治療は院内に透析センターがあり、入院・外来にて透析治療を行っています。  
なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

#### ■ 呼吸器内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用パス
030250XX991XXX	睡眠時無呼吸 手術なし 処置 1あり	-	2.00	2.03	0.00%	51.00	<a href="#">パス</a>

#### 初発の5大癌のUICC病期分類別並びに再発患者数

[ファイルをダウンロード](#)

	初発					再発	病期分類 基準(※)	版数
	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明			
胃癌	10	-	-	11	-	-	UICC TNM分類	8
大腸癌	-	10	12	11	-	-	UICC TNM分類	8
乳癌	-	-	-	-	-	-	UICC TNM分類	8
肺癌	-	-	-	-	-	-	UICC TNM分類	8
肝癌	-	-	-	-	-	-	UICC TNM分類	8

※ 1：UICC TNM分類，2：癌取扱い規約

令和3年度の5大癌合計は、大腸癌41件（48%）、胃癌26件（31%）、乳癌11件（13%）等で計85件であり、昨年と比較すると減少しています。  
患者数としては、大腸癌が最も多くなっており、次いで胃癌、乳癌となっています。患者さんに応じて腹腔鏡手術をはじめとする低侵襲治療



から抗がん剤治療の医療が提供できる体制を整備しています。なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

### 成人市中肺炎の重症度別患者数等

[ファイルをダウンロード](#)

	患者数	平均 在院日数	平均年齢
軽症	3	6.00	46.67
中等症	28	31.14	79.29
重症	2	8.50	76.50
超重症	2	8.50	91.00
不明	35	26.40	77.00

市中肺炎とは、病院外で日常生活をしていた人に発症した肺炎をいいます。院内での発症は含みません。重症度分類は、A-DROPスコア（年齢・性別、血液中の酸素濃度、脱水症状の有無、意識障害の有無、収縮期血圧等の身体所見）を用い、軽症から超重症の4つに分類しています。

日本人の死因第5位は肺炎であり、高齢化に伴い多くなる疾患であります。当院では重症度が中等症の患者数が最も多くなっています。重症度が高くなるほど平均年齢が上がる傾向となっています。高齢で合併症を併せ持つ肺炎は重症化するケースもあり、適切な抗生剤の使用や酸素療法を行っています。また筋力・体力低下を防ぐために早期よりリハビリを開始しています。急性期治療後は地域包括ケア病棟を利用していただき在宅への退院を目指しています。

### 脳梗塞の患者数等

[ファイルをダウンロード](#)

発症日から	患者数	平均在院日数	平均年齢	転院率
-	126	54.77	75.90	11.90%

脳梗塞の患者さんは令和3年度、93.7%の患者さんが発症後3日以内の急性期患者となっています。

脳梗塞の診断後、早期治療と早期にリハビリを開始することにより後遺症を最小限にすべく日常生活の自立向上に努めています。効果的なリハビリを実施するため、急性期治療後は回復期リハビリテーション病棟にて重点的なリハビリを実施しております。

転院率は約10%であり、多職種が関わり、地域の病院や施設と連携することにより地域で患者さんをサポートする体制を整えています。

### 診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）

[ファイルをダウンロード](#)

#### ■ 消化器科

Kコード	名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢	患者用 パス
K688	内視鏡的胆道ステント留置術	56	3.30	15.29	7.14%	81.04	
K664	胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）	17	64.06	35.82	47.06%	78.82	<a href="#">パス</a>
K654	内視鏡的消化管止血術	15	1.67	15.80	6.67	74.80	
K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（長径2cm未満）	-	0.22	1.44	0.00%	69.11	<a href="#">パス</a>
K6851	内視鏡的胆道結石除去術（胆道碎石術を伴う）	-	9.00	8.86	0.00%	75.43	

胆管結石、胆管炎、閉塞性黄疸などに対して行う内視鏡的胆道ステント留置術の件数が一番多くなっています。

内視鏡的結腸ポリープ・粘膜切除術は一般病棟だけでなく地域包括ケア病棟を利用し実施しています。大腸内視鏡検査において必要と判断した場合はポリープ切除を行います。ご高齢の患者さんも多いため安全確保のために1泊あるいは2泊入院して治療を行っています。また胃瘻造設術、消化管出血止血術、早期胃癌に対して内視鏡治療を行っています。

なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

#### ■ 循環器科

Kコード	名称	患者数	平均 術前日数	平均 術後日数	転院率	平均年齢	患者用 パス
K616	四肢の血管拡張術・血栓除去術	18	5.22	12.83	5.56%	71.11	<a href="#">パス</a>

K597-2	ペースメーカー交換術	-	1.13	8.00	0.00%	82.13	
K5492	経皮的冠動脈ステント留置術（不安定狭心症）	-	1.75	10.50	0.00%	64.50	<a href="#">パス</a>
K5972	ペースメーカー移植術（経静脈電極）	-	8.00	28.50	0.00%	74.00	<a href="#">パス</a>
K6001	大動脈バルーンパンピング法（IABP法）（初日）	-	69.50	47.50	0.00%	88.00	

下肢閉塞性動脈硬化症に対してカテーテルを用いて血管を拡張する四肢の血管拡張術・血栓除去術と、詰まりかけた冠動脈を風船で血管を広げた後ステントという薄い金属を留置する冠動脈ステント留置術が主な手術です。予約入院の場合は3日程度で退院できます。また洞不全症候群、完全房室ブロックに対してペースメーカー移植術を行い、術後ペースメーカー管理をしています。なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

#### ■ 外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	22	1.09	7.32	0.00%	63.86	<a href="#">パス</a>
K718-21	腹腔鏡下虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴わないもの）	10	0.60	4.30	0.00%	45.30	<a href="#">パス</a>
K719-3	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	-	11.13	44.38	0.00%	77.50	
K7193	結腸切除術（全切除、亜全切除又は悪性腫瘍手術）	-	4.71	37.00	14.29%	78.14	
K4611	甲状腺部分切除術、甲状腺腫摘出術（片葉のみ）	-	1.00	7.50	0.00%	68.33	

胆嚢疾患に対しての胆嚢摘出術（腹腔鏡下）、虫垂炎手術（腹腔鏡下、開腹）、結腸悪性腫瘍手術（腹腔鏡下）が主な手術です。患者さんの状態により腹腔鏡下、開腹手術の選択をしています。なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

#### ■ 整形外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K0821	人工関節置換術（膝）	116	1.21	29.27	0.00%	75.39	
K0461	骨折観血的手術	83	1.65	43.17	22.89%	81.82	<a href="#">パス</a>
K0483	骨内異物（挿入物を含む）除去術	66	0.76	6.83	0.00%	53.45	
K080-41	関節鏡下肩腱板断裂手術	51	1.14	29.76	0.00%	63.57	<a href="#">パス</a>
K068-2	関節鏡下半月板切除術	50	0.94	6.30	0.00%	55.54	

変形性膝関節症、リウマチ、骨頭壊死に対する人工関節置換術や骨切り術、原疾患手術施行後の抜釘手術、大腿骨骨折やその他骨折に対する骨接合手術、肩関節への関節鏡下肩腱板断裂手術、膝の外傷（半月板損傷等）に対する関節鏡下半月板切除術が主な手術です。術後地域包括ケア病棟・回復期リハビリテーション病棟において日常生活自立の回復目的の手厚いリハビリを行っているため平均術後日数は長くなっています。大腿骨骨折については地域の病院や施設を連携しているため、転院後治療を継続する方が多く転院率は約20%となっています。

#### ■ 脳神経外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K164-2	慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	24	6.71	33.54	8.33%	82.88	<a href="#">パス</a>
K1643	頭蓋内血腫除去術（開頭）（脳内）	10	3.20	97.70	30.00%	62.80	
K1771	脳動脈瘤頸部クリッピング（1箇所）	-	0.44	107.78	33.33%	68.33	
K178-4	経皮的脳血栓回収術	-	1.50	79.50	16.67%	78.50	
K1692	頭蓋内腫瘍摘出術（その他）	-	3.80	71.80	60.00%	74.40	

慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術、頭蓋内血腫除去術、脳動脈瘤頸部クリッピング、経皮的脳血栓回収術、頭蓋内腫瘍摘出術が主な手術です。

緊急性の高い手術が多く、24時間対応しています。機能障害を有する症例では術後の療養期間を要することが多く、周術期からリハビリを実施し中長期的な病状回復に努めています。  
なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

#### ■ 産婦人科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K8982	帝王切開術（選択帝王切開）	56	1.75	6.68	1.79%	32.30	<a href="#">パス</a>
K8981	帝王切開術（緊急帝王切開）	16	2.38	6.94	0.00%	31.38	<a href="#">パス</a>
K90910	流産手術（妊娠11週まで）（その他）	15	0.07	0.00	0.00%	33.40	<a href="#">パス</a>
K867	子宮頸部（腔部）切除術	14	1.00	1.86	0.00%	41.57	<a href="#">パス</a>
K877	子宮全摘術	-	1.86	7.29	0.00%	50.71	<a href="#">パス</a>

市内で唯一の分娩取扱医療機関のため帝王切開術（予定手術、緊急手術）、子宮頸管縫縮術、稽留流産手術が主な手術です。また子宮頸部上皮内腫瘍に対する子宮頸部切除術は短期間の入院で治療ができます。  
なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

#### ■ 眼科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K28210	水晶体再建術（眼内レンズを挿入）（その他）	15	0.00	0.80	0.00%	74.73	<a href="#">パス</a>
K259	角膜移植術	-	10.00	16.00	0.00%	73.33	
K270	虹彩光凝固術	-	0.00	1.00	0.00%	75.50	
K2172	眼瞼内反症手術（皮膚切開法）	-	1.00	1.00	0.00%	6.00	
K224	翼状片手術（弁の移植を要する）	-	0.00	0.00	0.00%	62.00	

白内障に対する水晶体再建術の件数が最も多く、他医療機関の先生と共同して昨年は入院・外来併せて約530件の手術を行っています。  
また角膜移植術も行っています。地域包括ケア病棟を利用して翼状片手術（弁の移植を要するもの）、眼瞼内反症手術（皮膚切開法）も行っています。その他、主に外来で実施している網膜光凝固術を入院でも行っております。  
なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

#### ■ 耳鼻咽喉科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K3772	口蓋扁桃手術（摘出）	-	0.00	7.00	0.00%	4.67	<a href="#">パス</a>
K309	鼓膜（排液、換気）チューブ挿入術	-	0.00	1.00	0.00%	3.50	
K453	顎下腺腫瘍摘出術	-	0.00	1.00	0.00%	61.00	
K340-5	内視鏡下鼻・副鼻腔手術3型（選択的（複数洞）副鼻腔手術）	-	0.00	3.00	0.00%	74.00	
K370	アデノイド切除術	-	0.00	3.00	0.00%	12.00	<a href="#">パス</a>

口蓋扁桃手術、鼓膜チューブ挿入術等を行っています。当科では外来治療を中心に治療を行っています。  
なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

#### ■ 泌尿器科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K7811	経尿道的尿路結石除去術（レーザー）	25	9.04	8.12	0.00%	62.64	<a href="#">パス</a>
K841-21	経尿道的レーザー前立腺切除・蒸散術（ホルミウムレーザー等使用）	15	5.40	9.87	0.00%	74.13	<a href="#">パス</a>
K8036イ	膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術）（電解質溶液利用）	14	1.00	6.64	0.00%	78.36	<a href="#">パス</a>
K783-	経尿道的尿管ステント留置術	-	1.56	8.00	0.00%	69.44	



2							
K6121 イ	末梢動静脈瘻造設術（内シャント造設術）（単純）	-	17.50	67.00	50.00%	62.75	<a href="#">パス</a>

尿管結石に対する経尿道的尿路結石除去術、前立腺肥大症に対する経尿道的前立腺切除術、膀胱悪性腫瘍手術、維持透析を開始するための内シャント造設術が主な手術です。  
 内シャント設置術後は、シャント狭窄や感染症等の合併症発生予防のため透析センター・循環器内科と連携して、当院の透析患者のみならず他の病院で透析されている方も含め診療しています。  
 なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

その他（D I C、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）

[ファイルをダウンロード](#)

DPC	傷病名	入院契機	症例数	発生率
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	-	0.00%
		異なる	13	0.37%
180010	敗血症	同一	43	1.23%
		異なる	12	0.34%
180035	その他の真菌感染症	同一	-	0.00%
		異なる	-	0.00%
180040	手術・処置等の合併症	同一	-	0.14%
		異なる	-	0.00%

播種性血管内凝固は、様々な重症の基礎疾患により、過剰な血液凝固反応活性化が生じ全身の血管内に血栓が出来、臓器不全、出血傾向となる病態です。基礎疾患には、悪性腫瘍、敗血症、熱傷、外傷などの重症疾患があります。  
 敗血症は、体のある部分で感染症を起こしている場所から血液中に病原体が入り込み、重篤な全身症状を引き起こす病態です。原因として肺炎、尿路感染症、腹膜炎、褥瘡感染、悪性腫瘍などがあります。  
 その他の真菌感染症は、敗血症以外の真菌の接着や侵入により生じる感染症で、感染部位により深在性真菌症と表在性真菌症とに区別されています。カンジダやアスペルギルス、クリプトコッカスが代表的な起因菌となります。  
 手術・術後合併症は、手術処置後に合併した疾患で、当院は透析を行うために必要なシャントが血栓などで閉塞し、使用できなくなり、その治療（経皮的シャント拡張術、血栓除去術）目的で入院する患者さんが多いです。当院では泌尿器科と循環器内科が協力して治療をしています。起こり得る合併症に関しては、事前に十分な説明を行い、発症が最小限になるよう努めています。  
 「同一性」とは、入院の契機である疾患と入院中に主として治療した疾患が同一か否かということです。  
 発生率は、播種性血管内凝固は0.37%、敗血症は1.57%、その他の真菌感染症は0%、手術・術後の合併症は0.14%でありどの疾患も発生することは3%以下の状態です。  
 なお患者数10未満は「-（ハイフン）」を入力しています。

更新履歴